

モ消滅スヘキヲ以テ大體本案ヲ可認シテ可ナルヘルト
述フ

穂積委員長ハ審査報告書案ヲ朗讀セシム

(村上書記官朗讀)

珍田顧問官先ツ報告書案ノ通決定セラルヘキ旨ヲ述ハ
各員之ニ賛同ス

穂積委員長閉會ヲ宣ス

(午前十時五十分閉會)

關東州ニ於テ財物劫掠ノ目的ヲ以テ多衆結合スル者
ノ處罰ニ関スル件第一回審査委員會

大正十三年十月六日(月曜日)本院事務所ニ於
テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

中村顧問官

松室顧問官

江木顧問官

國務大臣

加藤内閣總理大臣

説明員

塚本法制局長官

黒崎法制局参事官

濱田拓殖事務局長

出淵外務省亜細亞局長

安岡關東廳事務官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午前十時十五分開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

加藤内閣總理大臣ヨリ本案立案ノ趣旨ニ付、塚本法制局長官ヨリ本案規定ノ内容ニ付夫々説明アリ

江本顧問官ヨリ本案ト支那ノ戦乱トノ關係本案ノ外交上ニ及ホス影響等ニ付質問アリ加藤内閣總理大臣之ニ答辯ス

次ニ倉富顧問官ヨリ関東州ニ於ケル馬賊ノ被害件數多ク檢舉少キハ刑輕キニ非スレテ警察力不充分ニ因ルニ非スヤニ付質問ヲ為シ塚本法制局長官之ニ答辯ス

次ニ江本顧問官ヨリ本案ト不逞鮮人取締トノ關係ニ付質問アリ塚本法制局長官及黒崎法制局参事官ノ之ニ對スル答辯アリ

次ニ松室顧問官ヨリ参照ノ調査表ニ付及馬賊ノ處刑ノ實例ニ付質問アリ倉富顧問官ヨリモ亦同様ノ事項ニ付質問アリ安岡関東廳事務官之ニ答フ

次ニ江本顧問官ヨリ本案制定ノ必要如何ニ付朝鮮國境ノ警備ト比較シ質問スル所アリ塚本法制局長官之ニ答フ
次ニ松室顧問官ヨリ警察力ノ改善ニ付質問アリ安岡
関東廳事務官之ニ答フ

次ニ有松顧問官ヨリ本案第一條ノ多衆結合ノ字義、滿
鮮在留邦人ノ保護等ニ関シ、江木顧問官ヨリ鐵道沿線
ノ守備隊撤兵ニ関シ質問アリ安岡閣東廳事務官塚
本法制局長官濱田拓殖事務局長中岡外務省中野
亞局長交々之ニ答辯ス

次ニ江木顧問官ヨリ政府ニ於テハ今後ハ鐵道沿線守
備隊ヲ撤兵セサルヤ又將來國境取締ノ為軍隊ヲ
用フルノ意ナキヤニ質問ヲ為シ加藤内閣總理大臣之
ニ答フ

右依テ富井委員長ハ閉會ヲ宣ス

(午後零時十分閉會)

關東州ニ於テ財物劫掠ノ目的ヲ以テ多衆結合スル者
ノ處罰ニ關スル件第二回審査委員會

大正十三年十月九日(木曜日)本院事務所
於テ開會

出席者

濱尾議長

一本副議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

中村顧問官

松室顧問官

江木顧問官

説明員

塚本法制局長官

黒崎法制局参事官

濱田拓殖事務局長

出淵外務省亜細亞局長

安岡関東廳事務官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午前十時五分開會)

富井委員長開會ノ宣ス

倉富顧問官ヨリ勅令案第二條ニ付結合者一人ノ
單獨行為ヲモ處罰スルヤ、關東州外ニ於テ結合シタル
者ノ州内ニ於ケル行為如何、附和雷同者ハ主犯者ト同
罪ナリヤ又第三條ニ付自首者ノ必然的刑ノ減免ノ當
否等ニ付質問アリ黑崎法制局參事官及安岡關東
廳事務官交々之ニ答フ

次ニ二上書記官長ヨリ多衆結合ノ意義ニ付質問アリ富
井委員長及江本顧問官ヨリモ同一ノ事項ニ付質問ア
リ黑崎法制局參事官一々之ニ答フ

次ニ松室顧問官ヨリ主トシテ財物劫掠ノ意義ニ付質
問アリ塚本法制局長官、黑崎法制局參事官、濱
田拓殖事務局長及安岡關東廳事務官交々之ニ答
フ

次ニ濱尾議長及江本顧問官ヨリ本令ノ適用カ外
交上ニ難件ヲ齎スノ虞ナキヤニ付、有松顧問官ヨリ
本案第一條ノ意義ニ付各質問アリ之ニ對シ塚本
法制局長官及出淵外務省亞細亞局長ノ答辯アリ
次ニ倉富顧問官ヨリ第二條各號又ハ各號中ノ所
為ノ競合カ一罪ナリヤ數罪ナリヤニ付質問アリ黑崎
法制局參事官及安岡關東廳事務官之ニ答辯

ス

本案第一條及第二條ニ関スル前末ノ諸質問ニ對
スル説明員ノ答辯中往々諸説一致セサル點アルニ
因リ一木副議長ノ注意ニ依リ政府ニ於テ尚攻究
ノ上更メテ答辯ヲ為スコトニ決シ

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後零時十分閉會)

關東州ニ於テ財物劫掠ノ目的ヲ以テ多衆結合スル者
ノ處罰ニ関スル件第三回審査委員會

大正十三年十月二十二日(水曜日)本院事務所ニ

於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

中村顧問官

松室顧問官

江木顧問官

説明員

塚本法制局長官

黒崎法制局参事官

日下法制局参事官

濱田拓殖事務局長

郡山拓殖局書記官

出淵外務省亜細亞局長

安岡関東廳事務局官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後二時開會)

富井委員長開會ヲ宣ス

先ツ塚本法制局長官ヨリ前回ノ委員會ノ質問ニ
對スル答辯ヲ兼ネテ議案各條ニ關スル一應ノ説
明アリ

有松顧問官ヨリ第一條及第二條ノ意義ニ付、倉富
顧問官ヨリ第二條各號ノ所為ノ相互關係ニ付各質
問アリ、黒崎法制局参事官一々之ニ答フ

次ニ松室顧問官ヨリ第一條ノ「關東州ニ於テ」ノ文字ニ
付、江本顧問官ヨリ第二條ノ所為ト財物劫掠ノ目的

トノ關聯ニ付質問アリ尚一木副議長及富井委員
長ヨリモ同様ノ質問アリ塚本法制局長官及黒崎法
制局参事官之ニ答フ

次ニ富井委員長ヨリ州内ニ於ケル警察力又ハ兵力
ヲ充實セハ本案ノ如キ立法ノ必要ナキニ非サルカニ付
質問アリ塚本法制局長官之ニ答辯ス

次ニ江本顧問官ヨリ關東州内ニ於ケル馬賊團體ノ
狀況、不逞鮮人侵入ノ害ナキヤ、州内ノ軍隊警察
官ノ數等ニ付質問アリ尚松室顧問官ヨリモ警察力
ノ充實ニ關シ質問アリ濱田拓殖事務局長及安岡

關東廳事務官之ニ答フ

依、附則規定ノ要否ニ付一木副議長ト塚本法
制局長官トノ間ニ問答アリ

右依テ富井委員長ハ閉會ヲ宣ス

(午後四時二十分閉會)

關東州ニ於テ財物劫掠ノ目的ヲ以テ多衆結合スル者
ノ處罰ニ關スル件第四回審査委員會

大正十三年十月二十四日(金曜日)本院事務所

ニ於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

富井顧問官

審査委員

平山顧問官

有松顧問官

倉富顧問官

中村顧問官

松室顧問官

江木顧問官

二上書記官長

村上書記官

堀江書記官

(午後二時十分開會)

富井委員長開會ヲ宣シ本案ニ對スル各員ノ意見ヲ求ム

有松顧問官ヨリ關東州内外ニ於ケル馬賊ノ取締ヲ一層嚴ニスルノ必要ヲ述ヘ本案ハ大体之ヲ是認スヘキモ修正ヲ要スヘキモノアリトテ第一條ノ「財物劫掠」ヲ群行劫掠トシ第二條ニ付テハ各罪ノ所為カ劫掠ニ關聯スルノ意ヲ明ニスルコト第三條ハ倉富顧問官ノ説ト同シク

自首減免ヲ必然的トセサルコト附則ヲ削除スルコト等
ニ關シ意見ヲ述フ

之ニ對シ第一條ハ結合者ノ一人ニテモ州内ニ入リタルモノ
ヲ處罰スルノ趣旨ナリヤノ點ニ付富井委員長、倉
富、江本、松室、平山、中村各顧問官濱尾議長、一
木副議長及二上書記官長ヨリ各、意見ヲ述ハ説
分ル

濱尾議長ヨリ本案第一條ノ意義ヲ明ナラシムル
為匪賊等ノ文字ヲ用フルカ可ナラスヤトノ提議ア
リ之ニ付テモ意見區々ニ亘リ衆議決スルニ至ラス

富井委員長逐條審議ニ入ルヘキ旨ヲ宣シ議案
ヲ朗讀セシム

(堀江書記官朗讀)

結局第一條及第二條ハ原案ノ儘トシ第三條ヲ
修正シ附則ヲ削除スルコト尤モ此等ノ修正ハ政府
ニ於テ改案スルコトヲ交渉スヘキコトニ衆議一致シ尚
審査報告書ニハ本令ノ運用上注意スヘキコトノ希
望ヲ附言スルコトトシ同書ノ作成ヲ委員長ニ一任スル
ニ決ス

富井委員長閉會ヲ宣ス

(午後四時五十分閉會)

逋信省官制中改正ノ件第一回審査委員會

大正十三年十一月十一日(火曜日)本院事務所ニ

於テ開會

出席者

濱尾議長

一木副議長

審査委員長

穂積顧問官

審査委員